

足関節捻挫による靭帯損傷に対する自家移植腱を用いた靭帯再建術の 治療成績に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:平成 28 年 5 月 25 日～ 平成 29 年 3 月末日

〔研究課題〕 陳旧性足関節外側靭帯損傷に対する自家薄筋腱を用いた解剖学的再建術の治療成績

〔研究目的〕

足関節捻挫によって生じる足関節外側靭帯損傷が適切に治癒しなかった場合、足関節の不安定性や痛みが残存し、手術を行うことがあります。手術の第一選択は遺残靭帯を縫合する方法ですが、遺残靭帯の損傷の程度が強い場合には、遊離自家組織を用いた靭帯再建術が適応となります。我々は自家移植腱(薄筋腱)を固定する解剖学的靭帯再建術を行っています。しかし、この手術が可能な施設は限られており、本術式における情報は必ずしも十分ではないため、本研究でこの術式の治療成績や合併症を明らかにします。

〔研究意義〕

遊離自家組織を用いた靭帯再建術の報告は少なく、尚且つ個々の報告における症例数も少ないです。本研究ではより多くの症例数を調査することにより、本術式の有用性を明らかにします。

〔対象・研究方法〕

対象は、当院で本術式による手術を行った患者さんです(80 足程度)。臨床成績、放射線学的評価、術後合併症を調査します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕 個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 下園 由泰 (医学部整形外科学講座)

研究分担者: 宮本 亘 (医学部整形外科学講座)

住所:板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 7627]